

# ANDERSEN GROUP

2019年4月10日

株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所

## 在広島デンマーク王国新名誉領事就任のお知らせ

アンデルセングループは、故高木 誠一(元取締役社主)夫人の<sup>たかき</sup>高木 <sup>あきこ</sup>暁子が、デンマーク女王陛下より任命され、在広島デンマーク王国名誉領事に2019年3月5日に就任しましたことをお知らせいたします。

この度就任した、中国地方4県(広島、島根、山口、鳥取)における在広島デンマーク王国名誉領事は、アンデルセングループではこれまで、1986年から創業者の高木 俊介(就任当時は会長)が、1992年から社主の高木 誠一(就任当時は副社長)が務め、高木 暁子は3人目となります。

アンデルセングループでは、1959年に高木 俊介がデンマークを初訪問した際、デンマークという国のあり方に魅了され、企業として生きるお手本としてきました。また、1962年には日本で初めてデニッシュペストリーを発売、2008年にはデンマークの首都コペンハーゲンにアンデルセン1号店を出店、また国内のアンデルセンでは永年にわたりデンマークフェアを開催するなど、デンマークの食や文化を日本の皆様に紹介することに努めています。

1981年には、デンマーク王国のマルグレーテII世女王陛下、ヘンリック王配殿下が広島アンデルセンにご来臨下さるなど、王室との関係も築いてきました。

アンデルセングループはこれからも、「お手本は、いつもデンマーク。」の精神を大切に、デンマークとの交流、文化の発信を続けてまいります。

### ■任命式の様子

4月10日(水)に、おりづるタワーにて任命式を執り行い、フレディ・スヴェイネ駐日デンマーク王国大使より高木へ任命証が授与されました。

<新名誉領事 高木 暁子コメント>

「この度、在広島デンマーク王国名誉領事を拝命いたしました。広島をはじめとする中国地方4県とデンマーク王国をつなぐお役目をいただき、大変光栄に存じますとともに、身の引き締まる思いでございます。父 高木 俊介が創業致しましたアンデルセングループは、まだ原爆の爪痕の残るここ広島で生まれ、広島の皆様に育てていただいて今日があります。また、デンマーク王国の皆様には、パンの作りばかりでなく、仕事の仕方、生活の楽しみ方、生き方そのものに至るまで、学ばせていただいて参りました。ご恩のあるその両方に、いささかなりともご恩返しのできる機会をいただいて、とても有難く思います。父と母が育み、主人 高木 誠一が引き継いで参りましたこの大切なご縁を次の世代へと伝えるべく、微力ながら努めて参ります。」



任命式では、広島県の県知事湯崎英彦様、副知事の田邊 昌彦様、広島市副市長の岡村 清治様ご臨席のもと、任命証が授与されました。

※任命式の写真の提供をご希望の場合は、下記担当者までご連絡ください。

### ■在広島デンマーク王国名誉領事館所在地

広島市中区鶴見町 2-19 ルーテル平和大通りビル 10F

アンデルセングループ広島サポートセンター内

※前名誉領事の高木 誠一が2017年12月に逝去した後、一時休館しておりました。

※日本国内のデンマーク王国名誉領事館は、他に、福岡、名古屋、大阪、札幌にあります。

本リリースに対するお問い合わせは、株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所 広報室まで。

Tel: 082-240-9409 mariko.ouchi@angp.jp

〒730-0045 広島市中区鶴見町 2-19 ルーテル平和大通りビル

# ANDERSEN GROUP

## 補足資料

### アンデルセングループとデンマークの交流

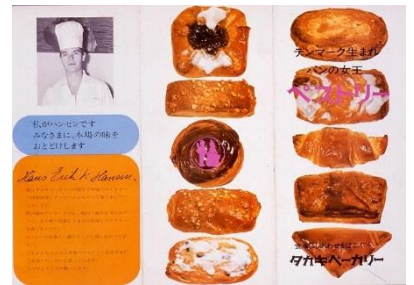
#### ◆ 創業者 高木 俊介とデンマークの出会い

高木は、戦後の広島で「高木のパン」を創業した頃、内村 鑑三著『デンマーク国の話』を読み感銘を受けます。本には、戦争に敗れて荒廃したデンマークが国民の英知によって永い時間をかけ復興していく様が記されていました。「戦いに敗れても、国は亡ばない」という話が当時の日本と二重写しになり、「事業も永い時間をかけて育てるべきだ」と、デンマークに惹かれる発端となったといいます。そして 1959 年、高木は欧米視察に出かけ、ヨーロッパの最後に初めてデンマークを訪れました。このとき高木は、一人ひとりが自立して暮らしを楽しんでいる人々の姿、合理性を重んじ本質を見つめる心など、デンマークという国そのもののあり方に魅了されます。後に、「この国には、商品の質の高さ以上に、わが社の目指す企業の生き方の手本になるものがたくさんあるように感じられた」とこのときの訪問を振り返っています。



#### ◆ 日本で初めてデニッシュペストリーを発売(1962年)

1959年に初めて訪れたデンマークで、高木はホテルの朝食で食べたデニッシュペストリーのおいしさに驚き感動します。帰国後、このおいしいパンを日本の皆様にも食べてもらいたいとの一心で、デニッシュペストリーの再現に挑み続けました。デンマークから職人を招き、またデンマークへ技術者を送り、幾度となく指導を受け、3年後の1962年に日本で初めてデニッシュペストリーを発売しました。



#### ◆ デンマーク王室との交流

1959年に創業者が初めてデンマークを訪れて以来、デンマークの文化や生活に触れ、企業のアイデンティティをデンマークに求めてきたアンデルセングループ。1981年にマルグレーテII世女王陛下とヘンリック王配殿下が広島アンデルセンに、2004年にヘンリック王配殿下が青山アンデルセンにご来臨くださるなど、デンマーク王室との関係を築いてきました。また、高木 俊介、高木 誠一が、デンマーク王室よりデンマーク名誉領事に任命されたほか、デンマーク王国よりダネブロー騎士勲章を授かっています。



#### ◆ ベーカリー「アンデルセン」をデンマークに出店(2008年)

アンデルセングループの創業60周年を迎えた2008年、デンマークの首都コペンハーゲンにベーカリー「アンデルセン」を出店しました。1959年の出会いから多くを学んできたデンマークへの感謝を込めた恩返しであり、またデンマークから学んでそのおいしさを守り続けてきたデニッシュペストリーの里帰りでもありました。デンマークで商売をし、社員が暮らすことで、デンマークを内側から学びさらに理解を深めていきたいとの想いがあります。



#### ◆ デンマークに桜の木を寄贈(2002年、2005年)

創業者の高木 俊介が逝去した翌年の2002年、デンマークへの感謝と永きにわたる友好関係のしるしとして、ガウノー城に桜の木150本を寄贈。また2005年にはデンマークの童話作家H.C.アンデルセン生誕200年を記念し、コペンハーゲン市内のランゲリニエ公園に200本の桜の木を寄贈。毎年美しい花が咲き、2008年からは桜フェスティバルが毎年開催され、デンマークと日本の文化交流の場となっています。

